

「ちよだフードバレーネットワーク」について

平成29年4月1日

- 「ちよだフードバレーネットワーク」は「農商工連携による市町村と千代田区の交流促進と会員相互の連携を図ること」を目的とした任意団体で、平成26年2月に設立されました(会長:大塚洋一郎)。現在、千代田区と46(千代田区を含め47)の自治体・地域が参加しています(規約別紙)。事務局は特定非営利活動法人農商工連携サポートセンター(代表理事:大塚洋一郎)です。
- 入会金、会費は無料です。目的に賛同する地域・自治体(市町村が対象です、県は対象外です)はどこでも入会できます(申込用紙別紙)。単独の企業、事業者は参加できません。商工会、協議会など地域で活動する団体であれば市町村(役場)でなくても参加できます。

「ちよだフードバレーネットワーク」参加のメリット

1. 常設アンテナショップ「ちよだいちば」の売り場(棚)が使えます。

30品目:2万円/月、60品目:4万円/月、販売手数料なし。

日替わりのお弁当に地域の素材を入れてPRします。

「〇〇(市町村名)のちよい飲み」を開催します。

詳細は別紙ご案内。

2. マルシェ(有楽町駅前広場)に参加できます。

11月中旬(オータムマルシェ)、3月下旬(スプリングマルシェ)の2回

1時間あたり4,000人~10,000人の人通りが途切れません

平成28年11月のマルシェで売上トップ3は3日間で48万円、47万円、45万円

キッチンカーも出店可能

出店料は売上の5%

販売ブースは間口3.6m×奥行2.7m

3. キッチンカーが使えます。

常時使えるキッチンカーがあります(ハイゼットを改良)

1回 21,600円、1ヶ月 54,000円(市町村サテライト入居者は無料)

ガソリン代、燃料(プロパン)代は実費

千代田区保健所の飲食店営業許可済み、都内全域で営業可

4. 役に立つ勉強会を年3~4回開催しています。

例:「スポーツツーリズムとまちづくり/早稲田大学 原田宗彦教授」